

ロータリアンの心に火をつけよう Get the Joy of Rotary

国際ロータリー第2580地区
2023-24年度ガバナー

栃木 一夫



2023年5月神田祭にて

ロータリアンの心に火をつけよう

Get the Joy of Rotary

クラブの未来に向けて、持続可能な元気なクラブの実現のための私たち地区の本年度の合言葉です。

皆さんはどんな時に心に火がつくでしょうか？

どうしたら仲間のロータリアンの心に火をつける事が出来るのでしょうか？

私の所属する東京北ロータリークラブの4月の炉辺会で「ロータリアンの心に火をつける」ことがテーマとしての話し合いを行いました。炉辺会は6班に別れて開催され、多くの班での様々な意見を聞くことが出来ました。

◎炉辺会での主な意見

- ・例会 ゴルフ会 観劇会等 親睦の充実
- ・楽しいコミュニケーションは世代間ギャップを埋める
- ・東京北Exchangeロータリー衛星クラブの活発な活動に刺激を受けた。
- ・衛星クラブの成長する姿を見て人を育てる、自分自身を高めていこうという個々の人格形成にたどりつく事が火をつけることになるだろう。
- ・委員会で役職を任命されたことがきっかけで火がついた

- ・ 海外のロータリークラブに行くと刺激になる。同様にメイクアップ等で他クラブ訪問による刺激で火がつく
- ・ みんなで何かを成し遂げ「うれしい」という感情の共有。

どの班でも、『楽しい』『出会い』『奉仕』『学び』『うれしい』『刺激』等、このようなキーワードを多く聞きました。また「すでに火がついてるから安心しろ」と言うような頼もしいご意見もありました。

新年度が始まりました。2023-24年度の国際ロータリー会長は、スコットランドのSouth Queensferry (サウス・クイーンズフェリー) ロータリークラブに所属の歯科医ゴードンR. マッキナリー氏です。

RI会長テーマは

世界に希望を生みだそう

CREATE HOPE in the WORLD

と発表されました。

希望を生み出すためには、私たち自身が元気で希望を持ち続けていくことが大切だと思います。一人一人がロータリアンという自覚に火をつけ、まずは元気なクラブを実現させる事が、希望を生み出す源です。一年間一緒に元気に積極的に活動していきましょう。

7月のInformation

○ガバナー公式訪問 7/11 (火) 東京北RCより開始

ロータリーの友 特集・地区内掲載情報 (2023年7月号)

- ゴードンR. マッキナリー RI会長メッセージ&紹介
- ガバナーの横顔 (栃木ガバナー)
- スピーチ「女性がより活躍できる組織・社会づくり」
(元厚生労働事務次官 村木厚子)

2023-24 年度ガバナー方針

ガバナー 栃木 一夫



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度、国際ロータリー第 2580 地区の地区方針として「持続可能な元気なクラブを実現しよう」を掲げました。各クラブが活発に、楽しく活動していただくことが、ロータリーの実践につながる原動力です。そしてもう一つ大切なのが「ロータリアンの心意気」です。一人一人の力の結集が持続可能な元気なクラブを産み出します。そこでこの一年は《ロータリアンの心に火をつけよう》という合言葉を胸に、ロータリアンだからこそ得られる「ロータリー再発見の旅」に出発しましょう。

2023-24 年度第 2580 地区の基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

1. クラブの成長

- ①. ロータリーは人、高潔性と 4 つのテストの実践が大切です
- ②. 会員増強と退会防止に努めましょう
- ③. クラブホームページで入会歓迎のメッセージを忘れずに
- ④. オープン例会やポリオデーでロータリーの理解を促進
- ⑤. 地区クラブ運営支援委員会と協力しましょう

3. My Rotary・ロータリーの友の活用推進

- ①. My Rotary は情報の宝庫、登録して活用しましょう
- ②. プロジェクトの立上げから補助金の申請までガイドしてます
- ③. 特に「ロータリークラブ・セントラル」と「ラーニング・センター」、「ブランドリソースセンター」を活用しましょう
- ④. クラブの雑誌委員を中心に、毎号の読書会を開き感想や意見交換を、ロータリーの友地区代表委員を卓話に呼びましょう

2. クラブビジョン・行動計画作成推進

- ①. クラブフォーラムや炉辺会合でクラブの将来を話し合う
- ②. クラブビジョン作成担当チームを設置、議論の内容を整理
- ③. ロードマップを作成、進捗をチェック
- ④. ベテラン会員の意見を尊重、若手会員の意見と擦り合わせる
- ⑤. 地区行動計画推進委員会と協力しましょう
- ⑥. RLI に参加して、他クラブの会員の意見、考え方を聞こう

4. ローターアクトや学友との交流の活性化

- ①. クラブと関わりのあった学友やローターアクターは、ロータリーの良き理解者。ロータリーの明日を担います
- ②. 彼らをクラブイベントに呼び、お互いの繋がりを大切に
- ③. 過去にお世話をした学友名簿を作成、役立てましょう
- ④. 地区の学友委員会との連携を強化しましょう

＜合言葉＞

ロータリアンの心に火をつけよう

Get the Joy of Rotary

「Get the Joy of Rotary」は、心に火がついた
ロータリー活動の充実感を意味します



ゴードン R. マッキナリー会長夫妻（2023 年 1 月国際協議会） 2023-24 年度ガバナー補佐の皆様（2023 年 4 月地区研修協議会）

普通の教師は言わなければならないことを喋る。
良い教師はわかりやすいように解説する。
優れた教師は自らやって見せる。
そして本当に偉大な教師というのは生徒の心に火をつける。
ウィリアム・アーサー・ウォード
（アメリカルイジアナ州出身の教育者・牧師）

2023-24 年度地区内の主なイベント

- クラブ活性化ワークショップ「会員増強と DEI
（仲間を増やすためのワークショップ）」
在京 2023 年 8 月 28 日（月）
沖縄 2023 年 9 月 8 日（金）
- クラブ活性化ワークショップ「ロータリー財団と公共イメージ」
在京 2023 年 10 月 6 日（金）
沖縄 2023 年 10 月 13 日（金）
- 第 8 回日台ロータリー親善会議 [会場：MARRIOTT TAIPEI]
2023 年 10 月 20 日（金）
- ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー [会場：帝国ホテル]
2023 年 10 月 24 日（火）
- 地区大会 [会場：帝国ホテル]
2024 年 2 月 28 日（水）～ 29 日（木）
- ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ
2024 年 4 月 25 日（木）

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を 世界各地での奉仕活動に役立てています！

地区ロータリー財団委員会

補助金委員会 財団資金管理委員会 資金推進委員会

ポリオプラス委員会 ロータリー平和フェロシップ委員会

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。一人ひとりのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

●【卓話支援】クラブロータリー財団委員会の皆様へ

ロータリーはクラブが主体。そして例会が要。とはいえ、ロータリー財団の卓話に挑戦するのは難易度が高いとお感じではないでしょうか？クラブのロータリー財団委員長の皆さんが、0からおひとりで頑張らなくても卓話ができるよう、パワーポイント資料と台本を各クラブへ配信いたします。7～11月の例会で1度は、ロータリー財団卓話にチャレンジしてみてください。

世界ポリオデーは毎年10月24日、ロータリー財団月間は毎年11月です。地区補助金、グローバル補助金、寄付、ポリオ根絶、平和フェロー、認証の情報を網羅しています。このパワーポイントはロータリー財



△ URL (QRコード)

団のテキストとしてお使いいただくことも想定しておりますのでボリュームがあります。必要な箇所、貴クラブで関心が高い部分を切り取って使ってください。



△パワーポイントデータ

●【寄付目標】おひとり 230 ドル

円安に鑑み、今年度のロータリー財団への寄付目標は、年次基金 150 ドル、恒久基金 30 ドル、ポリオプラス 30 ドル、平和フェロー 20 ドル、計 230 ドルを当地区では掲げておりますが、各クラブで目標額や寄付をお願いする方法をご検討いただきたきをお願いいたします。



●クラブ活性化ワークショップ

ポリオ根絶と公共イメージ 谷一文子地区クラブ運営支援委員長と木宮雅徳地区公共イメージ・デジタル化推進委員長と合同で、ワークショップを計画しています。

在京:10月6日(金) 沖縄:10月13日(金)

ポリオに罹患された方の生の声を撮影し、動画でお届けできないかと打ち合わせを重ねております。

●世界ポリオデー

今年も JAPAN サイトがオープン。ポリオ根絶はあと少しの所まで来ました。1988年に125か国で35万人だった発症者数は、2022年は2か国30人まで減少しました。パキスタンとアフガニスタンのみが野生型ポリオウイルスの常在国です。一人の発症者が出るとその後ろには1,000人の感染者がいるといわれています。ポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとつならずすんだ人の数は推定約1,940万人、命を落とすことのなかった人の数は推定150万人以上に上ります。ポリオを根絶しなければ、10年以内に毎年20万人もの子どもが身体まひに苦しむ可能性があります。最後までポリオ根絶活動を続けてまいりましょう。毎年10月24日



はポリオデーです。クラブでチャリティーイベントをなさる場合には、計画と成果を専用サイト(世界ポリオデー JAPAN サイト内)からご登録をお願いいたします。





世界ポリオデー JAPAN サイト
<https://www.endpoliorotary.club>

●ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー

10月24日(火)18時から帝国ホテル「光の間」にてポリオ根絶チャリティーディナーパーティーを行うことが決定いたしました！ご高承の通り、帝国ホテルは、1890年(明治23年)に海外からの賓客を迎える日本の迎賓館としての役割を担い、日比谷の地に開業したホテルです。ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。近日中に正式なご案内を各クラブにお送りいたします。



●【当地区初】ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ

2024年4月25日(木)にポリオ根絶チャリティーゴルフコンペを、東京RCの遠山明良さんのご協力をいただき水海道(みつかいどう)ゴルフクラブで開催します。上手下手は問いません。奮ってご参加ください。楽しみましょう。



●メジャードナーとポール・ハリスソサエティの集い【計画中】

本年度も地区大会でメジャードナー(寄付累計1万ドル以上の方)、とポール・ハリス・ソサエティの集いを企画しています。地区大会の本会議は2月29日に帝国ホテルで予定されております。

●地区ロータリー財団委員会一同、力を合わせて頑張ります！

ロータリー財団は「ポリオ根絶活動」「ロータリー平和フェロシップ(平和推進者への奨学金支援)」「補助金」の活動を行っています。当委員会は、各プロ

ラム推進のため、5つの小委員会を組織し、元気に活動してまいります。

- ◇補助金委員会(鈴木祥太委員長・東京ワセダRC)
- ◇財団資金管理委員会(加賀聡委員長・東京麴町RC)
- ◇資金推進委員会(相澤愛委員長・東京練馬西RC)
- ◇ポリオプラス委員会(小林康徳委員長・東京向島RC)
- ◇ロータリー平和フェロシップ委員会(比留間孝司委員長・東京武蔵村山RC)

沖縄分区の元ガバナー補佐の松島寛行さん(那覇西RC)と新城恵子さん(浦添RC)にも委員会に加わっていただき、在沖縄のロータリアンとローターアクトの皆さんの心にも火をつけられるよう取り組みます。また、ローターアクトで、地区ローターアクト直前代表の春木優杏さん(東京池袋豊島東RAC)にも委員として参加いただき、ローターアクトへの状況共有や交流促進に取り組みます。全員のお名前をご紹介しますことはできませんが、楽しく、そして力強いメンバーが地区ロータリー財団部門委員会に集まってくださいました。

栃木ガバナーが呼び掛けている「持続可能な元気なクラブを実現する」ため、我々はロータリー財団という側面から各クラブのロータリー財団活動を支援できるよう一生懸命汗をかきます。第22期平和フェロの来日や、2024-25年度補助金の募集に関しては、随時ご連絡やご報告いたします。

●ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

たった26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団がこの100年で大きく成長し、世界でよいことをするために役立っています。私たちが寝ている深夜でも、地球の裏側ではロータリアンやローターアクトがロータリー財団の補助金を使って奉仕活動をしています。ロータリーの世界的なネットワークをうまく活用した効率的な仕組みがロータリー財団だと感じます。アフターコロナの大変厳しい折ですが、一緒に頑張りましょう。ロータリー財団のプログラムは、どれも意義がある活動です。ご協力をお願い申し上げます。<地区ロータリー財団委員長 若林 英博(東京麴町RC)>

クラブ活性化ワークショップ 「会員増強と DEI（仲間を増やすためのワークショップ）」

地区拡大増強委員長 嶋村文男（東京東江戸川 RC）

今年度、地区拡大増強委員会では、クラブ活性化セミナー「会員増強と DEI（仲間を増やすためのワークショップ）」を、在京は 8 月 28 日 月曜日に東天紅上野店で、沖縄は 9 月 8 日 金曜日にパシフィックホテル沖縄で開催します。

● DEI への理解増進の必要性

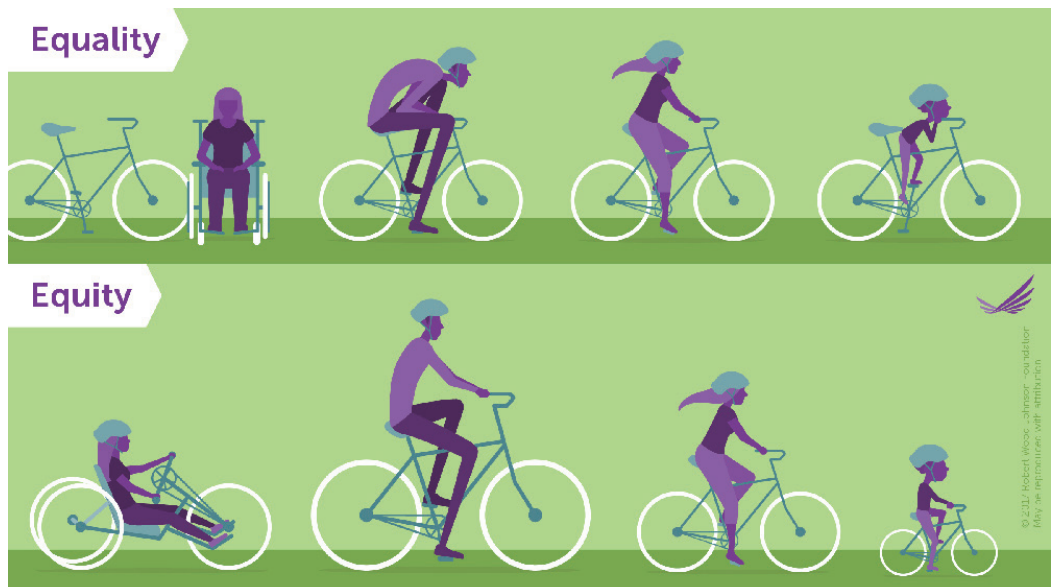
Diversity
多様性
Equity
公平さ
Inclusion
インクルージョン

ロータリーを助け成長させるには、新しい会員を見つけ出し、仲間を受け入れる『居心地の良いクラブ』にすることです。そして、「ロータリーでは 3 年以内に 3 割の会員が退会する」

とも言われていますが、新しい会員がロータリーの楽しみを見つけることができるようにする。それは会員の DEI への理解がポイントになると考えています。今年 3 月には、『クラブの成長は DEI の理解から』をテーマに、DEI の基本的な考え方を学びました。今年度は『DEI を理解して居心地の良いクラブを作ろう』とターゲットを掲げたいと思います。また、今までロータリーの声が届いていないメンバーとの新クラブ設立へのアイデアも共有したいと思います。

●ワークショップの内容

プログラムは、テーマスピーチ『新しい仲間を受け入れる』後に、2 つのテーマで、テーブルディスカッションを行います。これにはガバナー補佐の皆さんにもファシリテーターとして協力をいただき、参加された会員が多様な意見を聞き、学びと気づきを体感いただき、クラブに戻って、大いにクラブでの対話に繋げて欲しいと願っています。



●研修 (Training) から学習 (Learning) へ

国際ロータリーの研修プログラムは、2023 年 7 月より研修 (Training) から学習 (Learning) に、変更されます。今までの【研修】は、参加者に対して情報や知識を与える事でした。これからの【学習】は、参加者がスキルや能力を向上させるために情報を吸収すると言われています。今回のワークショップでもテーブルディスカッションを【対話】を重視させていただきます。この事は、会員増強のみにではなく、RC 全体で取り入れることが重要であると考えています。まずは、クラブでの対話です。「四つのテスト」にあるように、私たちは「みんなに公平か」を大切にしています。インクルーシブなクラブの文化を培うことは、公平さを実践することです。テーマスピーチで学習した事をテーブルディスカッションでの対話を通じて、自らスキルアップに活用いただければと願っています。

●参加者の皆さんへ

今回のワークショップの参加対象者は、会長エレクトとクラブ会員増強委員長の皆さんが中心です。クラブの 3 年後を見据えたクラブ行動計画の立案者でもあり、実践者でもあると思います。まずは、素直な心で学び、対話を学びに転換させていただき、変化を取り入れて、持続可能な元気なクラブを実現していただければと思います。各クラブからの沢山のご参加をお待ち申し上げます。

Copyright 2022 Robert Wood Johnson Foundation

2023-24 年度米山奨学委員会活動について

地区米山奨学委員長 小関 智宏（東京西北 RC）

4月21日に米山奨学会期間始業式をとり行いました。在京、沖縄合計で46名の米山奨学生をお預かりする1年間がスタートしました。始業式当日はカウンセラーセミナーを経て、奨学生をお迎えしました。米山奨学生としての心構えをお伝えし、卓話ではよねやま親善大使のアドゥアヨムアヘゴ アクエテビさんに「世界をつなぐ米山学友」をテーマにお話頂きました。



○米山奨学生交流会

6/17（土）にはAP新橋にて米山奨学生交流会を実施しました。米山奨学生学友会（東京）の理事長エンフボルドガンエルデネさんに卓話を頂き、活動報告を在京継続生6名からあり、栃木ガバナーにも加わり出席者全員でディスカッションをさせて頂きました。

○米山研修（9月実施）

9/2（土）には第2620地区との共催にて米山研修を実施します。米山梅吉記念館での研修、柿田川湧水の清掃活動を予定しております。カウンセラー、米山奨学生との絆を育む、楽しい1日にしたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023-24 年度 2580 地区米山奨学会期間始業式卓話

「世界をつなぐ米山学友」 ～アフリカに義肢装具を届ける挑戦～

第4代よねやま親善大使 アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビ



○自己紹介・トーゴの紹介

私は2014年4月から1年間、ロータリー米山記念奨学生として新発田城南 RCでお世話になりました。将来は研究者・教授、日本とアフリカ医療技術の架け橋を目指しています。トーゴは西アフリカのギニア湾を臨み、アフリカの笑顔という国です、南北におよそ600 km、細長く、短冊のような形をしています。人口は800万人で、面積は日本の1/7くらいです。トーゴでは昔、3つの植民地国がありました、ドイツ、イギリスとフランスでした。トーゴでは部族によって言葉が違い、公用語はフランス語です。

○日本留学目的

私は将来世代に明るく安全な未来を考えるためには留学するべきと考えました。私の将来の夢は、トーゴで大学の教授になり、日本で学んだ知識や技術を多くの学生に教えることです。世界中で支援機器を必要とする人々は6億5,000万人程度（うち80%が発展途上国に分布、WHO）存在しており、10人に1人しか適切な福祉用具を利用できていないのが現状である。またそのような人々は2050年までに20億人を超えると言われております。出身のサブサハラアフリカ（サハラ砂漠以南の地域）は多くが発展途上国であり、その

障害者人口はおよそ7,800万人を超えています。私の活動は、日本で使用されなくなった中古義足部品を再利用して義足製作を行うことです。また、私の日本留学経験を生かして、トーゴと日本との国際交流も促進させたいと思います。義肢装具の分野は、新しい技術が開発され、これまでに学んだ製作技術だけではなく、バイオメカニクス（運動力学）の面からも義肢装具歩行について学び、技術開発に生かしたいと思います。

○ロータリーで得たこと

現在ロータリー米山学友としてカウンセラーと世話クラブの会員との出会いは大変日本文化や伝統的な生活を理解するのに役立っています。またカウンセラーと地域活動に参加でき、異文化交流を体験しています。更に例会でロータリアンのスピーチからコミュニケーション能力が増加しています。ロータリー米山記念奨学金により、ロータリアンと仲間になって、とても光栄です。将来の目標は私が学んだ日本医療技術や文化や伝統についての経験をいかし、さらに、日本の良さをトーゴ人に伝えたいです。そのためにも若い人材を育てることは最も重要だと考えます。そしてトーゴと日本との国際交流を促進させたいと思います。

2023-24 年度 主な地区役員一覧

ガバナー	栃木 一夫 (東京北)	ロータリーの友地区代表委員	半場 慎一 (東京新都心)
ガバナーエレクト	石川 彌八郎 (東京福生)	指名委員会	◎嶋村 文男 (東京東江戸川)
ガバナーノミニール	中川 雅雄 (東京浅草)	拡大増強委員会	◎嶋村 文男 (東京東江戸川)
ガバナー補佐		行動計画推進委員会	◎吉田 雅俊 (東京新都心)
<中央分区>	岩崎 俊治 (東京神田)	2023-26 審議会代表議員	若林 英博 (東京麴町)
	山内 哲夫 (東京新宿)	立法案検討委員会	◎土居 岩生 (東京お茶の水)
	原田 令子 (東京城北)	地区ラーニング委員会	☆野生司 義光 (東京小石川)
<北分区>	長岡 信裕 (東京上野)	RLI 委員会	◎中島 弘人 (東京ワセダ)
	茂木 正光 (東京板橋セントラル)	危機管理委員会	◎鈴木 孝雄 (東京池袋豊島東)
	藤掛 靖元 (東京浅草中央)	地区大会実行委員会	◎三宅 郁子 (東京ベイ)
<東分区>	岡村 利之 (東京東江戸川)	クラブ運営支援委員会	◇櫻井 権司 (東京武蔵野)
	守屋 裕之 (東京江北)		◎谷一 文子 (東京小石川)
	栗山 義広 (東京臨海西)	公共イメージ・デジタル化推進委員会	
<武蔵野分区>	松村 哲也 (東京田無)		◎木宮 雅徳 (東京お茶の水)
<多摩分区>	浦川 哲男 (東京東大和)	職業奉仕委員会	◇多田 宏 (東京神田)
<沖縄分区>	前原 雅司 (コザ)		◎志熊 昌宏 (東京後楽)
	新崎 康幸 (那覇北)	環境保全委員会	◎大竹 章裕 (東京紀尾井町)
幹事	横山 義文 (東京北)	社会奉仕委員会	◇戸田 一誠 (東京練馬西)
副幹事			◎八木 敏廣 (東京新宿)
清水 英世 (東京西北)	佐藤 文則 (東京四谷)	国際奉仕委員会	◇吉田 建二 (東京田無)
西村 美智子 (東京お茶の水)			◎吉田 弘和 (東京麴町)
島崎 克之 (東京北)	永藤 昌男 (東京北)	青少年奉仕委員会	◇上山 昭治 (東京武蔵野中央)
安積 武史 (東京北)	横山 武志 (東京北)		◎大森 順方 (東京北)
高橋 映治 (東京臨海)	杉浦 孝浩 (東京臨海)	学友フェローズ委員会	◎平井 憲太郎 (東京池袋西)
松川 正秀 (東京田無)	中村 伸治 (東京東久留米)	インターアクト委員会	◎新垣 淑典 (那覇)
佐藤 匡 (東京青梅)	山本 智治 (東京東村山)	青少年交換委員会	◎岡田 丈尋 (東京福生)
安里 政晃 (那覇)	木村 敦史 (東京福生)	ロータリー財団委員会	◎若林 英博 (東京麴町)
分区幹事		補助金委員会	◎鈴木 祥太 (東京ワセダ)
<中央分区>	内藤 勝弘 (東京神田)	財団資金管理委員会	◎加賀 聡 (東京麴町)
	長尾 進也 (東京新宿)	資金推進委員会	◎相澤 愛 (東京練馬西)
	小川 光生 (東京城北)	ポリオプラス委員会	◎小林 康徳 (東京向島)
<北分区>	中澤 信夫 (東京上野)	ロータリー平和フェローシップ委員会	
	高田 由美 (東京板橋セントラル)		◎比留間 孝司 (東京武蔵村山)
	立野 秀一 (東京浅草中央)	米山奨学委員会	◇鈴木 孝雄 (東京池袋豊島東)
<東分区>	高橋 秀典 (東京江北)		◎小関 智宏 (東京西北)
	西野 充英 (東京臨海西)	ローターアクト委員会	◎大野 利美知 (東京上野)
<武蔵野分区>	齋藤 雄作 (東京田無)	ロータリー希望の風委員会	◎廣本 慶一 (東京四谷)
<多摩分区>	安部 琢正 (東京東大和)	国際大会参加推進委員会	◎加古 博昭 (東京池袋豊島東)
<沖縄分区>	仲程 誠 (コザ)	日台親善委員会	◎佐藤 匡 (東京青梅)
	宮城 匠 (那覇北)	バギオ基金委員会	◎斉藤 実 (東京臨海)